

タイトル	子どもたちが生き生きと学べる学校をめざして
学校名	四條畷市立岡部小学校

取り組みの概要



＜職員ミニ研修の充実＞

授業を充実させるためには、教員の知識・技能の向上が不可欠です。時間を取ることが難しい中でも、短い時間で「とび箱の補助の仕方」「ICTの活用」「英語」「カリキュラムマネジメント」など授業に関わるさまざまな研修を行うことができました。



＜大人の自主学習＞

楽しく学ぶモデルになろうと、昨年度に引き続いて「大人の自主学習」も全職員で行いました。

子どもたちが進んで家庭学習に取り組みたいと思えるきっかけをつくと共に、自主学習の進め方を提示しました。子どもたちの自主学習も各クラスや下足室前に掲示し、いつでも見ることができる環境にあります。



＜朝学習の充実＞

朝の10分程度の時間を使って、算数の学習をする「すいすいタイム」、国語の「もくもくタイム」があります。

「すいすいタイム」では、説明する力をつけることをねらいとしています。今年度は、どの子も前向きに取り組めるよう、友だちに説明する文を選択式にしたり虫食い式にしたりしながら、スモールステップで取り組める工夫を行いました。

「もくもくタイム」では、読解力、記述力をつけるために、物語や説明文を読んで答える問題や、自分の思いや考えを100字程度で説明する問題に取り組んでいます。今年度は、全国学力・学習状況調査で出題されているような条件が複数ある記述式問題にもチャレンジしました。



＜支援学級について理解を深めるために＞

通常学級で、支援学級における活動の説明やSSTなどの授業を行うことで、障がいや困り感のある児童に対しての理解を深めるとともに、個性を認めることの大切さを学びました。